



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員 斉藤くに子 区政ニュース

メール: arajcp@cn-catv.ne.jp 区議団 <http://www.jcp-arakawakugidan.jp/>
くに子ブログ <http://s-kumiko.jugem.jp/>



2023年12月24日 No.1343号

区役所直通 3802-4627

fax 3806-9246



★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

1月22日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮は随時随時に対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないように配慮します。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

斉藤帯 080-3388-4402

来年もよろしくお祈いします

くに子の区政ニュースは本号が今年最後となります。2024年は第2週に区民アンケートの結果を掲載した区議団新年号、くに子の区政ニュースは第3週(1月21日号)からお届けします。



来年も区議会区政そしてまちの情報をお知らせし、皆さんと双方向でニュース発行を継続します。来年も、ぜひご意見ご要望をお寄せください。



区議会議員選挙は4月23日投票でした。まだ8か月しか経っていないのですが、もっと前に行われたように感じます。

5月 物価エネルギー高騰から暮らし営業を守る緊急申し入れ

6月 本議会で「マイナ保険保険証廃止の中止を・第9期高齢者プラン・公費で算数セットや鍵盤ハーモニカなど準備を・家庭的保育の定員割れ補助4月から支給を・移動投票所などの検討」の質問・総務企画委員会で補正予算修正案提出

8月 学童クラブ虚偽報告調査、台東区コミバス調査

9月 決算特別委員会で区内福祉施設の状況や介護保険料などについて質疑

10月 八王子市の学校給食施設活用の学童クラブび昼食提供視察・本会議で虚偽報告に関わって討論・区民アンケート実施

11月 新年度予算要望書255項目提出・本会議で「一人親家庭の支援・公共サービスの区の責任・基本法にもとづく認知症対策」について質問・総務企画委員会で補正予算の修正案提出

12月 本会議で補正予算討論を行いました。

一年間があっという間、このニュースが皆さんのお宅に届くころは、クリスマスで今年もあと一週間、あわただしい年の瀬となりますが、お体に気を付けてお過ごしください。

政治の迷走、年が開けてどう動くか！人々の幸せ・子どもたちの未来に希望を・戦争ではなく平和の準備を願って新しい年を！



我が家のクリスマス飾り。保育士さんの手作りサンタや、以前、町屋幼稚園周年行事で頂いた園児制作のクリスマスツリーです。

議員報酬や区長等の給与引上げ

区民の理解と納得が必要

区一般職員の給料引上げに合わせて、

区議会議員報酬と区長・副区長・教育長の給与引上げが11月議会に提出され、

自民・公明・立憲民主などの賛成で可決されました。



日本共産党は物価エネルギー高騰で大変な中、区民の暮らし営業応援を最優先すべきで、

区民の理解と納得は得られないと反対討論を行いました。

議長	917,000円	→	926,000円
副議長	784,000円	→	792,000円
委員長	652,000円	→	658,000円
副委員長	624,000円	→	630,000円
議員	602,000円	→	608,000円
区長	1,143,000円	→	1,146,000円
副区長	917,000円	→	920,000円
教育長	830,000円	→	833,000円

議長や副議長などの報酬は高すぎます

荒川区議会議員の月額報酬は一般の役職なしの議員の1.36倍です。

東京23区はどこも同じようですが、三多摩の議会をしてみると、1.2倍程度になっています。また委員長や副委員長のプラスαはない議会が普通のようなのです。

	議長	副議長	委員長	副委員長	議員	
調布市	640,000	580,000		550,000		1.17倍
三鷹市	640,000	580,000		550,000		
町田市	640,000	580,000		550,000		
西東京市	614,000	549,000	533,000	517,000		1.19倍
狛江市	850,000	770,000		710,000		1.20倍
武蔵野市	670,000	600,000		550,000		1.22倍
八王子市	750,000	680,000	630,000		610,000	1.23倍



日本共産党区議団は、以前から何回も役職報酬の引下げの条例提案も行ってきましたが、他党派の賛同が得られていません。

議長副議長の1年交代たらいまわしの原因にもなっています。

議会改革の重点課題の一つとして、引下げの検討を議会が自主的に行う必要があります。



斉藤くに子の月額報酬と税金等経費	
月額報酬602,000円	
所得税	48,750
住民税	62,000
国民健康保険料	73,850
介護保険料	17,820
新聞・雑誌購読料	16,700
朝日新聞折込み代	5,000
議員団費	5,000
党費と定期募金	55,000
差引合計	284,120

コミバス「町屋さくら」の代替え どうなる?! 乗合いタクシー実証実験

A	運行収入	210万円
B	運行関連経費	460万円
	システム開発	450万円
区負担額 B - A = 700万円		

京成バスからの赤字運行で「町屋さくら」は継続できないとの申し出を受け、荒川区はすんなり昨年3月31日で廃止してしまいました。

その代替えとして今年7月から、始めたので乗合いタクシー（デマンド交通）の実証実験です。とりあえず来年3月29日まで動かすことになっています。

利用者延82名このままなら区の負担額大幅アップ

予算では運行収入は210万円（1回片道大人300円）で、延べ7000人の利用を見込んでいます。ところが、11月末まで5か月間で利用登録者は126名、そのうち実際に利用した人は延べ82名（往復利用は2名にカウント）しか

いません。土日祭日の運行はなく平日のみですので、7月3日から11月30日まで103日間、利用者は一日一人もしくはゼロという計算になります。

利用者	人数
7月3日～8月末	33人
～11月末	82人
来年3月末でどうなる?	

3ヶ月で増えたのは49人。12月～3月の4か月同じ割合で増えたとしても3月末までの利用者は150人



家の近所で乗車できて病院や区役所などに行ってくれるとかならまだしも、ルートは「清掃事務所から町屋駅の間だけ」わざわざ登録して、電話やスマホで予約して、乗降ポイントまで行って利用しますか。

乗合いタクシーよりコミバスの再開を

何とか利用者を増やそうと、9月に10時～15時だった運行時間帯を8時～13時に変更し、沿線住民に1回の無料券付チラシを配布（1千枚）。しかし無料券を利用した人は数名で効果なしです。

さらに12月にも所要時間を明記したチラシ（1千枚）を配布しましたが、利用者が増えるでしょうか。

コミバスと同じルートでの乗合いタクシー

運行です。コミバス廃止ではなく、区が赤字分の補填をして運行継続した方が良かったのです。改めて地域交通のあり方を検討し直すべきです。

南千住7丁目に障害児通所サービスが開所予定



南千住7-31-37：7丁目ハイツD棟121号室で来年1月に「放課後等ディサービス ウィズ・ユー南千住」がオープンする予定で進んでいるようです。

- ・未就学児の児童発達支援
 - ・就学児の放課後学童
- 運営は㈱安藤商事 定員10名

区内には児童発達支援13カ所・放課後デイ18カ所（うち両方運営は6カ所）ありますが、南千住地域には放課後デイ2・児童発達支援は1つしかありませんので、地域的な要望があるのだと思います。町屋地域には放課後デイが1つです。

必要な子どもたちに適切良好な支援が行えるように、民間任せでなく区の積極的な対応が必要です。

住民税非課税世帯に8万円給付は2月頃か

荒川区補正予算が可決し、区は急ピッチで準備を行っています。お知らせは1月中旬から下旬。皆さんの口座に振込まれるのは、早くも2月ではないかと思えます。お待ちください!!

給付金と定額減税の概要

所得税と住民税が非課税	住民税の均等割だけ納めている	所得税や住民税の納税額が定額減税の4万円に満たない	所得税と住民税を納税
10月24日で受付終了した3万円支給に続いて7万(荒川区1万円上乗せ)支給	10万円を給付	減税額との差額を1万円単位で給付	1人当たり4万円の定額減税
18歳以下の子ども1人当たり5万円を上乗せ			

住民税均等割のみ世帯10万円支給の詳細はまだ荒川区に届いていません。2月会議に間に合って補正予算を組んだとして、お知らせ発送・振込は3月?4月?まだわかりません。

定額減税4万円、定額減税が4万円以下の世帯への差額給付は来年6月以降の予定です。

給付金支給や1年限りの減税より消費税増税と大幅賃上げを

消費税減税こそ物価高騰から暮らしを守り、内需を拡大し、経済を立て直す上でもっとも有効かつ抜本的な対策です。また政府の責任で、大企業の膨大に膨れ上がった内部留保に時限的に課税して、財源を作り、中小企業を含めた全体の賃上げも必要です。

増大を続ける防衛費の見直しで社会保障の財源を

5兆円台の日本の防衛費予算が1兆円単位で増え続けます。高過ぎる介護保険料、国保料の引下げ、教育の負担軽減、国民年金額の引上げなどにこそ、大事な税金を使うべきです。

